

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和5年度～令和9年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（かみかわほくぶ） 上川北部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の北部に位置する^{しもかわちょう}下川町を含む上川北部森林管理署管内の2市3町に所在する約164千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、優れた山岳景観を持つ^{てしおだけ}天塩岳道立自然公園や、ピヤシリ自然休養林、アベシナイ風景林などの観光資源がある参加・体験型観光が盛んな地域であり、登山やスキー、ハイキングなど保健休養の場として多くの地域住民に利用されている。</p> <p>豊かな自然環境は、地域の小学校と森林管理署の間で締結する「^{ゆうゆう}遊々の森」協定により子どもが森林にふれる場としてフィールドを提供し、森林教室の実施により森林の働きについて理解を深める機会を提供している。</p> <p>また、水源涵養^{かん}や土砂の流出・崩壊の防備等を主な目的として本計画区の国有林野面積の約95%が保安林に指定され、地域の水源林として機能するほか、基幹産業の農業の振興に資する観点から重要な役割を担っている。</p> <p>森林の現況は、人工林面積が約35千ha（主な樹種は、トドマツ（74%）、カラマツ（8%））、天然林面積は約123千haを有し、森林の蓄積は北海道の平均151m³/haに対して118m³/haとなっている。このうち人工林は齢級構成が11齢級をピークとする一山型であり、10齢級以上が約68%を占めている。</p> <p>これらのことから、多面的機能の持続的発揮を図ることができる多様な森林づくりのほか、適切な間伐や主伐後の確実な更新、林地保全に配慮した森林づくりの実施など、森林整備の必要性は一層増している。</p> <p>さらに、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システム、伐採と造林の一貫作業システム、低密度植栽、コンテナ苗植栽などによる造林及び保育の低コスト化の取組を推進することにより、流域における林業の成長産業化の実現に向けて国有林の役割を継続的に果たすことが求められる。</p> <p>中でも、下川町及び^{なかがわちょう}中川町では、森林整備推進協定に基づき、連結路網の整備による効率的な木材の安定供給体制を構築するとともに、共同土場（ストックヤード）の官民共同利用による販売機会の拡大や、森林認証の取組など、民有林との連携を強化することで更なる計画的で効率的な森林整備の推進、需要拡大の普及啓発を図ることが期待される。</p> <p>このため、本事業ではこれまでの評価結果を踏まえ、地域の期待に応えるためにも、森林の有する公益的機能を持続的に発揮するために必要な森林整備及びこれ</p>		

	<p>らを効率的に推進するための路網整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>313ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,817ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>17.40km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.09km</td> </tr> </table> ・ 総事業費 5,236,417千円（税抜き 4,760,380千円） 	森林整備	更新面積	313ha		保育面積	11,817ha	路網整備	開設延長	17.40km		改良延長	0.09km
森林整備	更新面積	313ha											
	保育面積	11,817ha											
路網整備	開設延長	17.40km											
	改良延長	0.09km											
費用便益分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">30,404,088千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">7,217,989千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td style="text-align: right;">4.21</td> </tr> </table>	総便益（B）	30,404,088千円	総費用（C）	7,217,989千円	分析結果（B／C）	4.21						
総便益（B）	30,404,088千円												
総費用（C）	7,217,989千円												
分析結果（B／C）	4.21												
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えます。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 水源地の保全及び基幹産業の農業に資する観点から、森林の有する水源涵養機能をはじめとする多面的機能の発揮が求められている。また、森林資源の本格的な利用期を迎え、民有林と連携した効率的な森林整備の実施により地域の林業・木材産業の振興及び林業事業体の育成などに寄与するため、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 今後の森林施業を見据え、利用区域内における施業の優先度を勘案した路網整備が計画され、高性能林業機械を適切に組み合わせた作業システムの定着、伐採と造林の一貫作業などによる伐採再造林の経費削減の観点からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 計画的で効率的な本事業の実施により森林の有する多面的機能が持続的に発揮され、土砂流出・崩壊の防備や地域の基幹産業の農業の振興、地球温暖化防止等に寄与し引き続き効果の発現が見込まれることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されていると認められる。</p>												

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

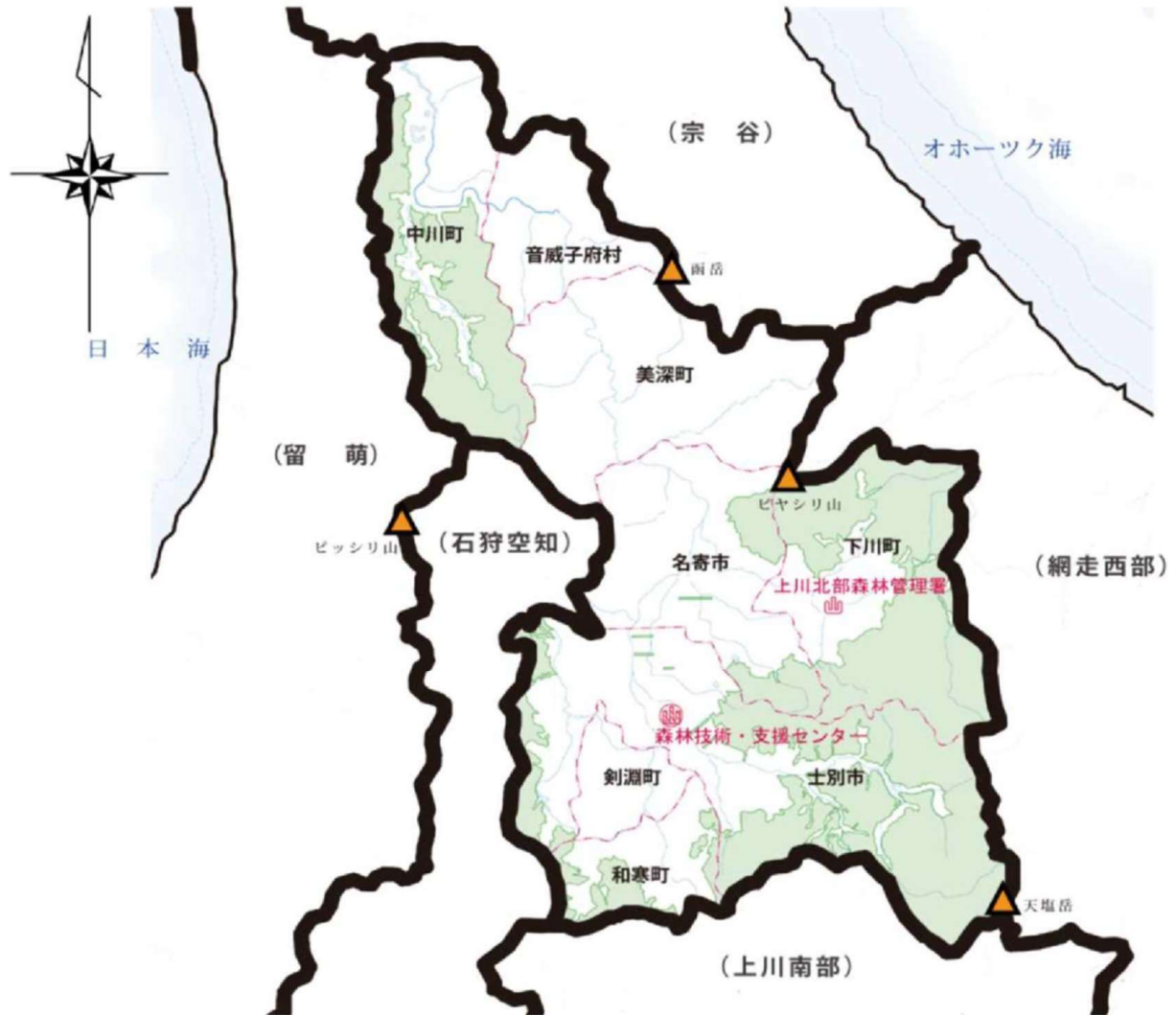
都道府県名：北海道

施行箇所：上川北部森林計画区(上川北部森林管理署)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,402,448	
	流域貯水便益	2,263,687	
	水質浄化便益	8,368,969	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,187,374	
環境保全便益	炭素固定便益	2,316,996	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	130,022	
	木材利用増進便益	246,176	
	木材生産確保・増進便益	752,930	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	137,561	
	森林整備促進便益	597,925	
総 便 益 (B)		30,404,088	
総 費 用 (C)		7,217,989	
費用便益比	$B \div C = \frac{30,404,088}{7,217,989} = 4.21$		

森林環境保全整備事業 上川北部森林計画区 事業概要図 (上川北部森林管理署)

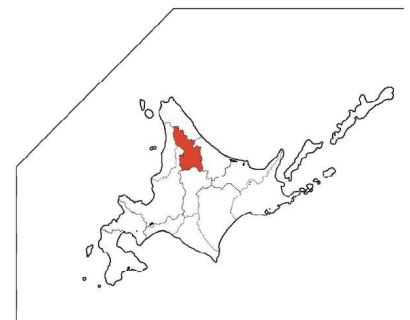


森林整備

更新面積 313 ha
保育面積 11,817 ha

路網整備

開設延長 17.4 km
改良延長 0.09 km



凡 例	
国 有 林	
主 要 山 岳	
鉄 道	
森 林 計 画 区 界	
市 町 村 界	
振 興 局 界	
森 林 管 理 署	